



KAWASAKI  
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



## こどもまんなか社会をめざして



川崎市内には、子どもを支援する活動をされている団体が多く存在し、各団体のビジョンに基づき多様な活動が展開されています。また、市内でSDGs達成に向けて活動している「かわさきSDGsパートナー」の中にも、子ども支援や住みやすいまちづくりに取り組んでいる企業がいらっしゃいます。

私たち 特定非営利活動法人かわさきこども食堂ネットワークは、子どものための支援は重層的な支援であることが望ましいと考え、そのためには、市内で子どもを支援する活動をしている団体や企業が直接対話ができる機会を創出することが必要だとの思いから、今回初めてこのような交流の場を川崎市との共催事業として企画しました。

第1部では、認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之氏をお迎えし、基調講演を行います。

第2部では、市内の子ども支援団体等が直接意見交換する時間を設けます。

「こどもまんなか社会」を実現していくために、ともに手を携えて、考える機会をみなさんと共有し、ここから新たな連携が生まれることを願っています。

**2026年**

**2月6日(金) 14:00~17:00 開場 13:30**

**@川崎市役所本庁舎復元棟 301・302会議室**

**参加者**

- ・市内で子どもに関する支援活動をしている団体・法人
- ・子どもの支援に関する活動に興味・関心がある企業

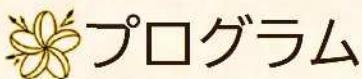
**申込締切** 2026年1月23日(金) **参加費** 無料

**定員** 30名(定員に達した場合、抽選となることがあります)

**申込URL** <https://forms.gle/fdALjKommW4Gbja7>



申込二次元コード



# 第1部 基調講演 誰もが安心して過ごせる居場所づくり

認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば  
理事長 西野 博之 氏



## <プロフィール>

認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば理事長。川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん他、各事業総合アドバイザー。

1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかる。1991年、川崎市高津区にフリースペースたまりばを開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、さまざまな障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。

2003年7月にオープンした川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託により公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、その代表を務め、2006年4月より川崎市子ども夢パークの所長に就任。2021年3月までの15年間所長を務めた。

神奈川大学非常勤講師。精神保健福祉士。

# 第2部 参加者によるグループディスカッション

- テーマ① 子どもを支援する活動において課題に感じていること
- テーマ② 課題を解決するためにできること

## <特定非営利活動法人 かわさきこども食堂ネットワーク>

2018年8月に任意団体として活動を開始した、川崎市内唯一の市内子ども食堂への中間支援団体。2024年1月にNPO法人格を取得し、現在は、認定取得を目指している。

市内の子ども達の笑顔が増えるよう、その支援をしている子ども食堂等へ、各種情報提供や、寄贈品の受入れ・配布等を中心に活動している。また、普及啓発活動や調査研究も実施している。2025年度の調査結果では、市内の子ども食堂数は115箇所。神奈川県域の子ども食堂ネットワークや、県内にあるほかの市域ネットワークとの連携をはじめ、県外の子ども食堂ネットワークやフードバンク団体とも、情報の共有や連携を行っている。

今回、こども家庭庁の創設以降「こどもまんなか社会」というキーワードをもとに、市内の子ども支援団体や、企業との連携ができたらという想いで、このフォーラムの開催を川崎市とともに開催する運びとなった。

## アクセス

川崎市役所（川崎市川崎区宮本町1番地）  
JR川崎駅下車 徒歩約10分  
京急川崎駅下車 徒歩約4分



## お問合せ先

特定非営利活動法人かわさきこども食堂ネットワーク  
Mail:infkksnw@gmail.com

川崎市こども未来局青少年支援室

Mail:45sien@city.kawasaki.jp

電話:044-200-2668